

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 新型転換炉原型炉ふげん及び高速増殖原型炉もんじゅの原子力事業者防災業務計画の修正の検討について

2. 日 時：令和3年5月27日 16:10 ～ 16:55

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、落防災専門官、平野室長補佐、宮地防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

日本原子力研究開発機構 敦賀廃止措置実証本部

安全・品質保証室 技術主幹 他5名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、新型転換炉原型炉ふげん及び高速増殖原型炉もんじゅの原子力事業者防災業務計画の修正として、5/18の面談にて原子力規制庁が指摘した項目についての検討結果及び検討の進捗により見直した事項について以下の項目の説明があった。

- ・火災・溢水による安全機能の喪失についての見直し
- ・原子力防災要員の派遣要員数に関する検討結果
- ・防災要員の職務と配置に関する検討結果
- ・原子力防災管理者の代行に係る記載の検討結果
- ・その他、記載の適正化 など

原子力規制庁は、上記検討結果に対する説明について大きな指摘事項がないこと、新型転換炉原型炉ふげんと高速増殖原型炉もんじゅの間で整合性が図られていることを確認した。

日本原子力研究開発機構から、今年度の修正に向け、引き続き検討することだった。

6. その他

配布資料

資料1：令和3年度 原子力事業者防災業務計画修正に係る主な修正点
(高速増殖原型炉もんじゅ、新型転換炉原型炉ふげん)